

令和4年度第2回半田市児童館運営委員会議事録

開催日時	令和5年3月13日(月)	10時から11時30分まで
開催場所	半田市役所 庁議室	
会議次第	1. あいさつ 2. 議題 (1) 令和4年度児童館年間事業報告について〔資料1〕 (2) その他	
出席委員 (欠席委員)	【出席委員】 和田 さとみ、加藤 智子、石川 正喜、山本 宏巳、村田 いずみ、徳山 香代、中井 朋子、百田 昌弘、荘司 京子、加藤 金吉、杉江 正憲、間瀬 さとみ、渥美 隆、近藤 孝子 【欠席委員】 なし	
事務局	子ども未来部長 伊藤 奈美 子ども育成課 副主幹 榊原 秀夫 子ども育成課 事務員 石原 未唯	子ども育成課長 小林 徹 子ども育成課 主事 服部 晃良
児童センター 館長	成岩児童センター館長 倉本 裕士 半田児童センター館長 近藤 正勝 板山ふれあいセンター館長 都築 佳子 有脇児童館館長 神戸 伸公	亀崎児童センター館長 間瀬 浩平 乙川児童センター館長 間瀬 直人 青山児童センター館長 眞鍋 昭二
次第	議 事 概 要	
	○子ども未来部長あいさつ	
議題(1) 令和4年度児童館 年間事業報告につ いて〔資料1〕	～資料1に基づいて、各児童センター・児童館の館長から説明～ (委員長) ありがとうございました。 この件に関して、委員の皆様のご意見、ご質問がありましたらお願いします。 (委員) 各館で実施している企画内容について、他の館のものを参考にしたい場合もあると思います。 企画書のようなものは、みなさんと共有できていますか。 (事務局) 各館における情報共有については、毎月1回、館長会議を行い情報共有しています。一般に向けた情報提供については、こちらからは発信していません。ただ、各児童館にてボランティア団体等とのやりとりのなかで情報提供している場合もあると思います。	

	<p>(成岩児童センター館長)</p> <p>館長会議の他に、厚生員会議にて2月に1回、情報共有しています。一般の方に対しては、例えばペットボトルロケットを家でやりたいということであれば、作り方のコツなどを伝えることをしているように、基本的には、聞かれれば対応しています。積極的に発信はしていません。</p> <p>(委員長)</p> <p>もし、私が成岩児童センターのやっていることを教えていただきたい場合は、教えてもらえるということですか。</p> <p>(成岩児童センター館長)</p> <p>お応えすることは可能です。</p> <p>(委員長)</p> <p>先ほどの説明のなかで、おもしろい企画がたくさんありましたので、各館や一般向けに情報提供していただけるとありがたいです。</p>
<p>議題(2) その他</p>	<p>(委員長)</p> <p>その他について、委員の皆さんから何かご発言はありませんか。</p> <p>(副委員長)</p> <p>今後、各児童センターのマスクの対応、また、コロナ対策についてはどうなりますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>昨今の感染者数の減少を踏まえ、愛知県の新型コロナウイルス感染症対策が「警戒領域」に緩和されました。これにより児童センターにおいても、一律に実施を見合わせていた「飲食を伴う行事」については、人と人の距離を保つ、大声で話さないなどの対策をとることで、今後は実施可能といたします。</p> <p>また、「センターまつり」など、多くの方が参加する行事については、人数制限をしておりましたが、今後は、人数制限を撤廃し、コロナ前の運用に戻させていただきます。なお、マスクについては、個人の判断ということにさせていただきます。しかしながら、今後の感染状況によりましては、国や県の指針に従い、適宜、対応を見直します。</p> <p>(委員長)</p> <p>他にありませんか。</p> <p>ないようですので、事務局からありますか。</p>

(事務局)

1点目、「令和4年度における各児童センターの新設遊具」について、資料2をご覧ください。寄附金を活用して、板山ふれあいセンターに「ユニット砂場」、青山児童センターに「エアホッケー」、乙川児童センターに「室内ジャングルジム」、半田児童センターに「わんぱくとりで」、成岩児童センターに「ボルダリング」、亀崎児童センターに「おままごとセット」、有脇児童館に「ユニジャンプ」を購入いたしました。令和5年度については、市長から児童センターの環境整備のためにと、追加で受け取りました予算をもとに、遊具の購入やカーペットの張替えなどを行ってまいります。財源のこともあるため順次となりますが、今後も児童センターの環境整備に努めてまいります。

2点目ですが、「手洗いの自動水栓化」についてです。資料3をご覧ください。新型コロナウイルス感染症などの予防対策として、保育園や幼稚園など市内31施設に自動水栓化工事を行いました。児童センターでは、トイレや工作室など、7館で計23か所の工事を行いました。また、令和5年度は、児童センターを始めとする市内公共施設の照明器具を、従来の蛍光灯からLEDに交換する「LED化工事」を計画しております。

3点目ですが、今年度、「子育て支援事業検討プロジェクト会議」という新たな会議体を設置しております。この会議体は、子育て中の5名の市民委員と3名の市職員委員で構成されており、今後実施していくべき子育て支援策の検討を行い、令和6年度の事業化を図ります。会議はこれまで、4回開催しましたが、児童センターに期待する意見が多数出ております。このような意見は、真摯に受け止め、児童センターがこれまで以上に、地域の方々から必要とされ、親しまれる場所となるよう努めてまいります。

(委員長)

この件に関し、委員の皆さん、何かご意見・ご質問がありましたら、ご発言をお願いします。

(副委員長)

半田児童センターを2つにしてください。遠くて行けない小学校の生徒もいます。岩滑はとくに公園もないため、遊ぶところが少ないと思います。そうした点も踏まえて検討していただきたいと思います。

(子ども未来部長)

半田市では、小学校が13校あるなかで児童センターは7館しかないという状況です。半田市内では児童センターにおいて、中学校区に1つの設置という整理をしている経緯があります。今後、各地域に児童センターのような充実した施設を設けていくのは難しい状況がありま

すが、一方で、老朽化した学校施設の改修をしていく段階にきております。これに伴い、学校のなかに児童センターの役割を果たすような子どもの居場所を設けていくことを進めさせていただく予定です。

岩滑小学校区については、公民館が建て替わり、エントランスを子どもが利用できるようになっています。また、岩滑には子ども園があり、子育て支援室が地域子育て支援拠点としてお母さん方が未就園の子どもさんを連れていける場所になっています。半田市の保育園については、今後、子ども園化を進めていき、これにより子育て支援室が増えるため、そうした場所の活用を図っていきたくて考えております。時間がかかることではありますが、そのような方向性を持っているということをご承知おきいただきたいと思います。

(委員長)

遊具について、毎年1つずつ新しいものを全館購入していくのでしょうか。

(子ども未来部長)

遊具については、予算のこともあり毎年購入することは難しいのが現状です。ふるさと納税のような寄付を財源とし、少しずつ充実したいと考えております。令和5年度については、各館の要望に応じて施設の改修を予算計上しております。再来年度については、また検討させていただきます。

(副委員長)

各館で購入するものの希望はだせますか。

(子ども未来部長)

もちろんです。各館で選んでいただいています。

(委員長)

ほかに何かご意見・ご質問はありませんか。ないようですので、各委員の皆様から児童館、児童センターに関して、ご意見等をお伺いしたいと思います。

～運営委員の皆様一言ずつご発言をいただく～

(委員)

板山ふれあいセンターで実施している子育て支援事業について、他の館ではやれないのでしょうか。

(子ども未来部長)

今、半田市に7つの児童センターがありますが、青山児童センターと板山ふれあいセンターについては地域の方に委託しております。児童センターの運営だけではなく、午前中に地域子育て支援拠点事業を別途、委託しています。青山、板山については12, 3名のスタッフがいるため、午前中の時間帯も事業の充実を図っていただいています。公営館は館長含め3名の人員配置ですが、おやっこ、ひよっこのような午前中の行事を実施しています。現状では、職員を増やすということは難しいですが、青山、板山が実施している良い点を取り入れながら実施できることを行っていけたらと考えています。

(委員)

児童センターに行くたびに少しずつ綺麗になっていたり、遊具が増えていたりするのは見ていてもとても良い印象を持ちます。一方で、建物は老朽化しているので、少しずつ対応していただけたらいいなと思いました。活動についても各館素晴らしい活動をされていると思います。

(委員)

亀崎地区は古いのですが、最近では地域によって入り人が増えております。お子様と、またお父さんお母さんたちが、学校以外でふれあえる場として児童館が役目を果たしていると思っています。地域とのふれあいが児童館で生まれればいいなと思っています。

(委員)

児童センターでは、幼児、小学生、親御さん、センターの職員の方が基本として活動されていると思いますが、今の報告を聞かせていただくと、いろいろな事業に、中学生、高校生、大学生、地域ボランティアの方が関わっています。そのなかで地域の住民の世代の関わりがセンターの職員の働きかけで少しずつ広がっているように感じました。

(委員)

私には中学生と小学生高学年の子どもがいます。行事のお知らせを毎月いただきますが、幼児と小学生が対象のものがほとんどです。昔から慣れ親しんだ児童センターで、中学生も参加できるような行事をもっと取り入れていただけたらと思います。

(委員)

今回の事業報告がとても見やすく、ありがたいなと思いました。これまでは文字だけでしたが、写真を入れていただいたことで、活動内容がわかりやすくなっています。また、コロナ禍でセンターの職員の方々も大変だったと思いますが、徐々にみなさんが集まるようになって、子どもたちの楽しい笑顔が見られるようになることを切に望んでおります。

(委員)

児童センターの活動は、手作りで見たら楽しくなるようなものが多く、活動に携わっている方の努力を感じ、感謝しています。また、地域の方々がつながる場所がなくなっているなかで、子どもを中心に集まれる児童センターという場所がいろんな年代が集まれる場所になっていると思います。そうしたなかで、もっといろんな協力依頼をすれば集まっていた方がいると思います。そうした方々を巻き込んで、地域の世代を超えたコミュニケーションをできる場として育てていってくれたらと思います。

(委員)

子育てをしているみなさんは、仕事をしていてとても忙しい中、児童館に参加していると思いますが、もう少したくさん参加していただけたらなと思いますので、私自身も子どもたちを連れて遊びにいきたいと思います。

(委員)

先ほど事業報告を受けまして、多くの事業をされているということでご苦労様です。各児童館で子どもたちのためになることをより検討していただきたいと思います。また、この2、3年で幼児は増えてきましたが、もっと小学生が増えるような場にしてほしいと思います。

(委員)

青山児童センターでは前年度、サッカーのイベントを新しく開催しました。それをやることによってたくさんの人に来ていただきました。先週、来年度の計画を考えましたが、新しくバドミントンのイベントを予定しています。新しいことを取り入れることによって、1人でも多くの方の利用が増えるのではないかと思います。

(委員)

私が子育て中のときから児童センターにはお世話になりました。自分はいよいよ館長と同じ世代になり、孫もできました。いろんなことを思い出しながら、わかりやすくまとめていただいた活動報告を見て、他の館の活動もよくわかりました。子育てにひと段落した余裕のある方たちを活用して児童センターでこれからも良い事業をやっていただきたいと思いました。

(委員)

様々な行事があり、各方面からボランティア等で多くの方に関わってもらっていると感じました。有協は、公民館のなかにありますので、公民館を利用される方々のなかにもいろいろな指導をできる方がいらっしゃいますので、積極的に声をかけたいと思います。

(委員長)

	<p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>はじめのあいさつで伊藤部長から、知多No.1の子ども支援の半田市を目指すとおっしゃっていただき、とても嬉しく思いました。これからも、子どもたちが楽しく遊べるような児童センターになっていけるといいなと感じました。</p> <p>以上で議事を終了いたします。事務局へお返しますので、よろしくをお願いします</p>
閉会	<p>長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。これをもちまして、第2回児童館運営委員会を閉会いたします。運営委員の皆さまには、各館の運営に関しまして、いつでも忌憚のないご意見をいただきたいと思ひます。よりよい児童館のあり方を皆さまとともに考えていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。</p>
(終了)	